

目 標 達 成 計 画

事業所名 山王こもれびの家  
 作成日 平成 31年 1月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみ事、気分転換等の支援について、個別に出来ていない現状があり、利用者本位のケアになっていないことがある。	一人ひとりの生活歴や力を活かし、役割、楽しみのある生活が送れるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりに向き合い、話をする機会を作る。</li> <li>毎月のカンファレンスで、センター方式を活用し、支援方法を検討する。</li> <li>ケアプラン更新時に（暮らしの情報・心身の情報・焦点情報）の見直しをし、ケアプランに反映させる。</li> </ul>	6カ月
2	2 (2)	これまで、地域に出向く機会を作ってきたが、地域住民は事業所を「家」としての認識ではなく、「施設」として捉えているように思われる。地域の方が事業所に足を運ぶことも少なく、日常的に交流が図られていない。	地域の方と入居者が日常的に交流が図られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、地域に出向く機会を多く持つ。</li> <li>地域の方が事業所に足を運んで頂けるように、運営推進会議や、地域包括支援センター主催の連絡会議に参加し、協力を仰ぐ。</li> <li>馴染みのある方との交流を継続して図れるように家族に言葉がけし面会の機会を持つ。</li> </ul>	6カ月
3	35 (13)	災害対策として、年に3回避難訓練を実施している。1回は運営推進委員に立ち合いをして頂き、入居者の身体状況や避難経路を確認し、緊急時に支援体制が図られるようにしてきた。しかし、併設する施設と一体化した災害対策が図られていない。	災害発生時に、地域住民にも応援体制が図れるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>併設する事業所と共に、防災マニュアル、消防計画の見直しを行う。</li> <li>上記、職員に周知を図る。</li> <li>併設する事業所合同の避難訓練を実施する。その際、地域の関係者にも参加を仰ぐ。</li> </ul>	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。